令和７年３月２６日

保護者様

京都市立上賀茂幼稚園
園　長　村山　得太朗

# 幼稚園評価の結果について

陽春の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本園の保育・教育にご支援ご協力賜りありがとうございます。修了したゆり組の皆さんをはじめばら組の皆さん、ひよこ組の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

さて、２月の生活発表会後に実施しました幼稚園評価にご協力いただき、ありがとうございました。大変遅くなりましたが、評価アンケートの結果は、グラフ化し別紙にまとめましたのでご覧ください。分析につきましては、学校運営協議会の皆様にもご意見をお聞きし、領域ごとに行いました。また、自由記述欄でご意見を聞かせていただきました。ご指摘のあった点については、今後の園運営に生かしていきたいと思います。

【子どもの様子】

◆幼稚園の保育を通して身に付けてほしい力の中で６項目の様子をお尋ねしました。「遊びを見つけて遊びこむ」こと「お友達との遊びを楽しむ」ことは１００％という回答でした。幼稚園で楽しく遊んでいる様子がうかがえます。「あきらめずに取り組んでいる」という項目での評価がＡとＢで８０％となっていますが、学年が上がってくると「できそう」「お友達もやっている」とどんどんチャレンジしていくようです。今年度の研究テーマである「友だちとの関わり」の部分でも９５％がＡとＢの評価でした。特にゆり組は生活発表会をみんなの力で作り上げ、お友達とのいい関係性が表れていました。修了式までの遊びもみんなで楽しむことができ、つながりが深まったと思います。今後もやる気や主体性が育つよう、一人一人の子どもに寄り添いながら、子どもたちが安心して過ごせるように、そしてイメージを広げて遊べるように援助していきたいと思います。

【幼稚園の取組】

◆すべての項目において、「そう思う」、「だいたいそう思う」の回答を合わせてほぼ 100%の評価をいただきました。保育について評価していただいていることはとてもありがたいことだと思います。設備の件や連携の件、保護者への伝達の件など、十分でないと部分を改善していきたいと思います。

【家庭での取組】

◆人数にするとお二人の方が、「寄り添う」「健康管理」の面でＣ評価になっていました。ご家庭での忙しさや兄弟姉妹の影響もあると思います。このようなアンケートをきっかけにお子様への関わりを見直していただえればありがたいと思います。

【地域や学校との連携】

◆それぞれの項目で「そう思う」「だいたいそう思う」の回答を合わせて 90%以上でした。年長児の活動しかありませんが、上賀茂こども園の園児さんとともに小学校の様々な学

年の児童と交流活動を実施することができました。また、中学校との連携もチャレンジ体験や保育実習で行っています。子どもたちはお兄さんお姉さんと遊ぶのが大好きで、中学生も園児相手だと普段とは違う表情が見られるので、お互いにいい経験になったと思います。地域行事では昨年より学区民夏祭りが再開され、ステージ発表の場を提供していただき、ＰＴＡもスーパーボールすくいのブースで参加し、大盛況でした。

　幼保小接続・連携について、上賀茂小学校・上賀茂子ども園と相談を進めています。。「架け橋プログラム」(就学前の５歳児と小学校１年生の２年間を今後の学びに重要な時期であるという位置づけで「架け橋期」といいます。）の実施を控え、本園と上賀茂こども園、上賀茂小学校も現在の子ども同士の交流から「合同研修や授業・保育参観による大人同士の交流」や「目指す子ども像の共有」などを話し合い、カリキュラムの作成に結び付けていきたいと考えています。。

◆自由記述欄につきまして、様々なご意見・ご質問ありがとうございました。今後の園運営の参考にさせていただきます。また、ご質問等に関しましては、個別にお答えさせていただきます。今後ともお気づきの点がございましたら、登降園の際、お話していただくか、アプリのメールでご連絡ください。よろしくお願いいたします。

★学校評価を行う理由（京都市教育委員会ホームページより）…社会情勢や子どもをとりまく環境が多様化・複雑化している現代において、学校だけでなく、保護者・地域の方々が子どもを育む当事者として、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみの教育を進めることが不可欠です。「学校評価」は、学校・家庭・地域が自らを振り返り、子どものためにできることを考え、共に行動するきっかけとするものです。このことが、地域ぐるみで子どもを育てることに繋がるのです。